

(問題1の続き)

問2 図2は海底扇状地の三次元図と堆積物の模式柱状図である。海底扇状地は陸上からの碎屑物が海底に運搬され堆積していく主要な場所であり、そこでは厚い堆積物が分布する。扇頂部では、海底谷から続く扇状地谷をつくり、下流に向かって海底チャンネルが続き、扇端部ではロープとよばれる舌状の堆積体を形成する。以下の設問(1)～(4)に答えよ。

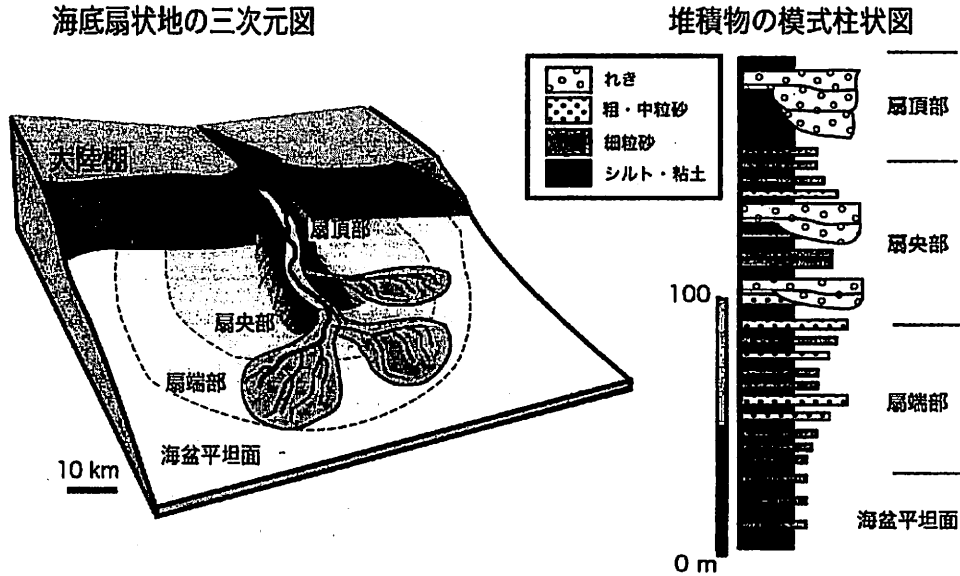


図2 海底扇状地の三次元図と堆積物の模式柱状図

- (1) 海底扇状地において、堆積物を扇端部まで供給する流れで、最も適当なものを1つ選べ。
 a) 混濁(乱泥)流, b) 土石流, c) サージ, d) ラハール, e) 粒子流, f) 底層流
- (2) 設問(1)の流れで形成される代表的な堆積物の名称を記し、その特徴を説明せよ。
- (3) 下記の文章で正しいものを選び(複数選択可)。
 (ア) 扇頂部は流れが強いため砂が運ばれてしまい、シルトや粘土のみが卓越する。
 (イ) 扇頂部—扇中部では、チャンネルの外側にあふれ出した流れは氾濫原堆積物を作る。
 (ウ) ロープはチャンネルの蛇行によりいろいろな方向に発達するため、扇形の形状を示す。
 (エ) 扇端部は流れが弱くなるため、粘土やシルトが主体の堆積物になる。
 (オ) 海底では陸上と違い、チャンネルの流路は蛇行しにくい。
 (カ) 最長の海底チャンネルはナイル川沖の地中海にあり、長さは約200kmに達する。
 (キ) 南海トラフの堆積物は、ほとんど天竜海底谷から供給されている。
 (ク) 黒部川扇状三角州から大量の土砂が日本海に流れ込み、日本海深部に達する長い海底チャンネルを形成している。
- (4) 模式柱状図から読み取られる岩相層序の特徴とその成因を述べよ。